

[成果情報名] カーネーションの有望品種

[要約] カーネーションの新品種では、スタンダードの‘セイシェル’‘ピンクモンテズマ’スプレーの‘チカス’‘コリンレモン’‘ナージャ’が、暖地の6月～7月定植の作型において有望である。

[キーワード] カーネーション、新品種、スタンダード、スプレー

[担当] 静岡県農林技術研究所・伊豆農業研究センター

[代表連絡先] 0558-62-0001、電子メール [agriminamiizu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:agriminamiizu@pref.shizuoka.lg.jp)

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・普及

---

[背景・ねらい]

平成20年度に国内外の種苗業者が開発したカーネーション新品種の中から、スタンダード28品種、スプレー35品種、計63品種を試作し、主要品種と比較した中で、その特性と本県への適応性から、有望品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. スタンダード

- ・‘セイシェル’は黄緑色の花色が特徴的な大輪品種で、秋口から茎が硬く高品質な切り花が得られる。
- ・‘ピンクモンテズマ’は桃色の品種で大輪品種で採花初期に軟弱花が発生したが、収穫が連続し、高品質な切り花が多く得られた。

2. スプレー

- ・‘チカス’は赤色の発色が鮮やかで、採花本数も多かった。
- ・‘コリンレモン’は黄色の地色にわずかに赤色の筋が入る品種で、生産者の評価が高かった。
- ・‘ナージャ’は赤に白の覆輪が入る品種で、採花開始が遅かったが、栽培期間を通じて発色が鮮やかで切り花品質が安定していた。

[成果の活用・留意点]

1. 暖地のガラス温室における6月下旬～7月上旬定植、1年切り栽培の作型に適する。
2. 選定された品種は、いずれも種苗業者により種苗法による品種登録が出願されており、栽培にあたっては各種苗業者との許諾契約が必要である。

第1表 カーネーション選抜品種の切り花特性

2) 品種・系統名	3) 採花開 花色 始時期	4) 時期別採花本数(本/株)				合計	下物率(%)				9) 日持 (日)	10) 切花 長	11) 総合 評価
		～12月	1～3月	4～5月	合計		5) 上物 率(%)	6) 軟弱	7) ガク割れ	8) 花少			
フランセスコ	赤 10中	3.5	1.1	0.8	5.3	46.9	53.1	7.8	—	0.0	9.0	中	標準
セイシエル	黄緑 12上	0.5	2.6	1.7	4.8	100.0	0.0	0.0	—	0.0	7.8	長	○
ピンクモンテズマ	桃 11中	2.5	1.8	0.7	4.9	72.9	27.1	0.0	—	0.0	10.0	中	△
ライトピンクバーバラ	桃 11下	1.5	3.0	0.6	5.1	67.9	28.6	—	5.4	0.0	11.0	中	標準
チカス	赤 10下	0.9	3.4	1.5	5.7	98.6	1.6	—	0.0	0.0	7.8	長	○
コリンレモン	黄 12上	0.7	3.2	0.8	4.7	88.5	9.6	—	1.9	0.0	10.7	中	△
ナージャ	赤/白 1下	0.0	3.2	1.4	4.5	100.0	0.0	—	0.0	0.0	8.3	中	△

1)栽培概要、定植:7月9日、摘心:7月29日、修正摘心:9月16日

2)標準品種は'フランセスコ'、'ライトピンクバーバラ'

3) /は覆輪を示す

4)商品として販売可能な切り花の割合

5)下垂度指数が1以上の切り花

6)ガク片の上部が半分以上割れた切り花の割合

7)側花数が3輪未満の切り花の割合

8)切花長が40cm未満の切り花の割合

9)各品種5本、4月中～5月上旬調査、庁舎内の日陰(気温16.9℃～24.6℃、湿度32～68%)に設置し観賞の限界日数を観察

10)上物の切り花長:70cm以上の切花が60%以上:長 30～60%:中 30%未満:短

11)採花本数、切り花品質等から総合的に評価 ○:有望 △:やや有望



図1 選定された有望品種

[その他]

研究課題名: 養分吸収特性に即したカーネーション灌水同時施肥栽培体系の確立と有望品種の育成選抜

予算区分: 県単

研究期間: 2006～2010年度

研究担当者: 馬場富二夫、稲葉善太郎